

2021年 第4回日本脊椎脊髄病学会・日本側弯症学会合同社会保険等システム検討委員会 議事録

日 時：9月15日（水）18：00～19：00

場 所：Web Zoom

参加：日本脊椎脊髄病学会：大鳥精司（担当理事） / 遠藤健司（委員長） / 新井嘉容 / 酒井義人 / 鈴木秀和 / 高野裕一 / 平井高志 / 平泉 裕 / 牧 聡 / 宮城正行 / 渡辺航太 / ◇山縣正庸

側弯症学会：宮城正行（委員長）、酒井大輔、谷口優樹、八木 満

欠席：種市 洋、辻 崇、青田洋一、井上 玄、藤田順之

外保連担当

JSSR 手術：遠藤、渡邊、実務：鈴木、牧、検査：高野、平井、処置：委員長平泉、鈴木、平井、麻酔：平井、広報：高野

検査画像診断WG：遠藤、検査医療材料WG：鈴木

側弯症 手術：藤田、八木、実務：井上、宮城、処置：酒井大輔、検査：酒井大輔、麻酔：宮城

議事項目

- ① JSSR 理事会より（大鳥）：椎間板内酵素注入療法技術料改定の費用対効果のエビデンス作成について、承認された
- ② 椎間板内酵素注入療法技術料改定の費用対効果のエビデンス作成（平井）：MED との比較、社保委員会の参加メンバーとご協力いただける施設で症例を集めて今年度中にデータ報告→プロジェクト委員会で進めていき、成果物をもって 2024 年度要望の技術料増点申請を目指す
- ③ ヒトロンビン含有ゼラチン使用吸収性局所止血材のアンケートを含め全審会報告（平泉）：適正使用量の周知、1-2 椎間や適正使用量を超えた場合の症状詳記の記載徹底→具体的な数値記載についてはもう少し要検討
→11月の委員会で再検討の上、理事会に諮る
被曝関連については日本医師会からの優先項目となった
- ④ 2024 年度新規要望項目について：年末の評議員アンケートに向けて、まず委員間で課題をまとめていく。新規技術などあったら連絡を
- ⑤ 日本脊髄外科学会との連絡（遠藤）
- ⑥ その他：外保連手術委員会からの資料について確認をお願いします。

・次回委員会は 10/20(水) 18：00 から予定（ヒトロンビン含有ゼラチン使用吸収性局所

止血材の適正使用に関する具体的数値記載について)